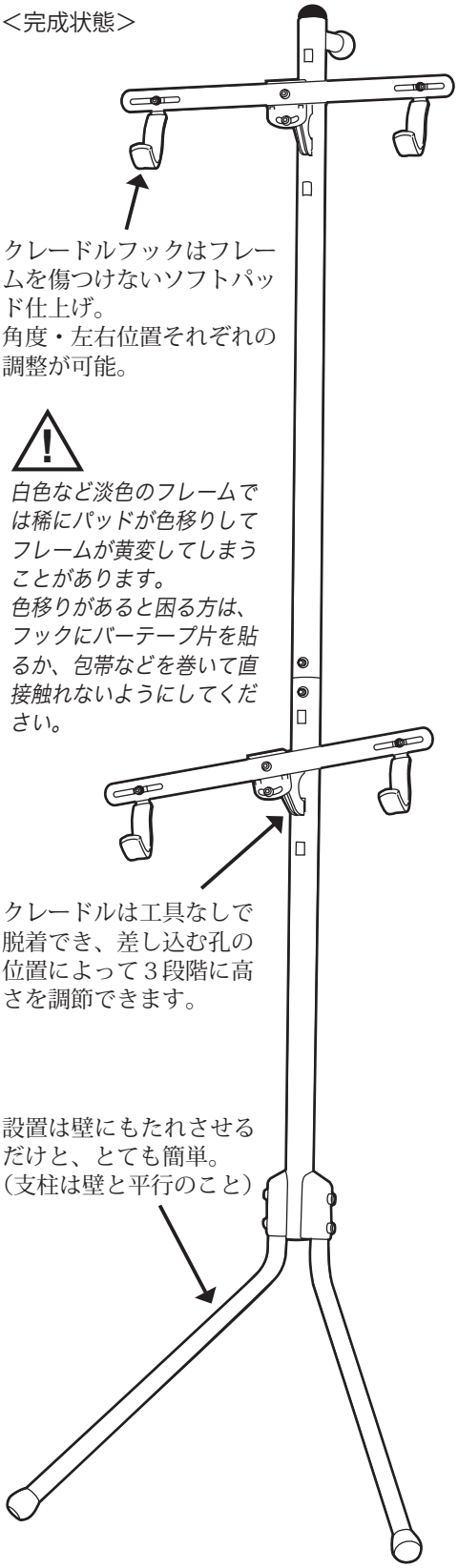
MINOURA グラビティスタンド 2　組立て・取扱説明書

(ver.1.4 2014/8)

組立に必要な工具：M5 六角レンチ（添付）

＜ボルトサイズの表記について＞
「ネジの呼び径 x ネジ部長さ」で表記しています。（例　M6 x 40）

＜完成状態＞



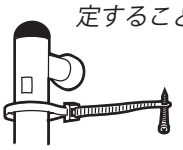
クレードルフックはフレームを傷つけないソフトパッド仕上げ。
角度・左右位置それぞれの調整が可能。

白色など淡色のフレームでは稀にパッドが色移りしてフレームが黄変してしまうことがあります。
色移りがあると困る方は、フックにバーテープ片を貼るか、包帯などを巻いて直接触れないようにしてください。

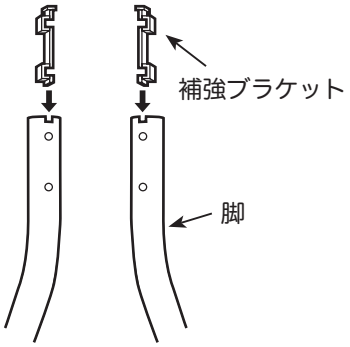
クレードルは工具なしで脱着でき、差し込む孔の位置によって3段階に高さを調節できます。

設置は壁にもたれさせるだけと、とても簡単。
（支柱は壁と平行のこと）

グラビティスタンドは地震でも簡単に倒れないようには設計してありますが、万一の事故防止のため添付のケーブルで上部を壁面に固定することをお勧めします。

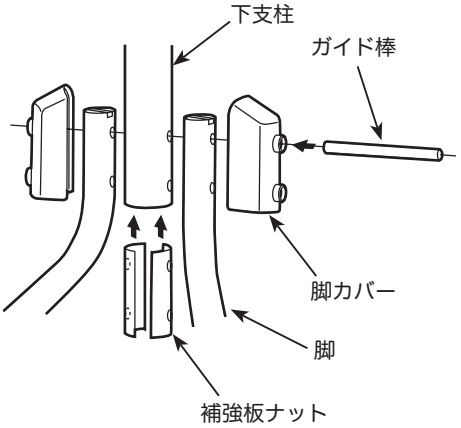


1 補強ブラケットを脚の上部から挿入します。これを左右両方とも行ないます。



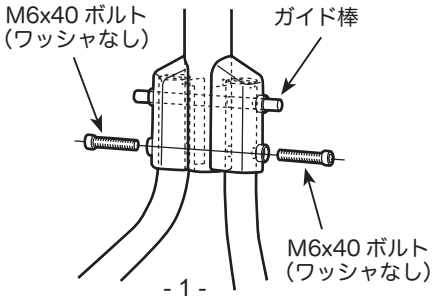
補強ブラケットは、ボルトを締め込んでもパイプが潰れないようにするためのもので、必ず忘れずに使用してください。

2 下支柱の下側から補強板ナットを挿入し、樹脂カバーをかぶせた脚（左右とも）と下支柱とを、ガイド棒を挿入して位置決めします。
下支柱は四角い孔があいている方が手前側です。
脚は奥から手前に向けて曲がっているようにします。

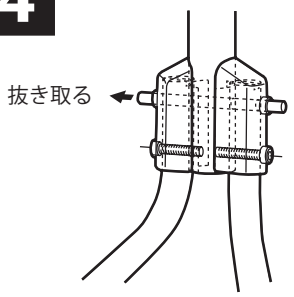


補強板ナットにはあらかじめ単品のうちに一度ボルトを通してネジを整えておくと、後の作業がしやすくなります。

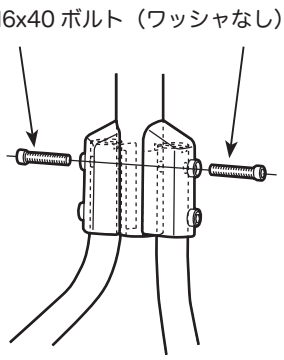
3 M6x40 ボルト 2 本をガイド棒を挿入していない側の孔にねじ込み、両脚と下支柱とを軽く固定しておきます（まだ本締めはしません）。



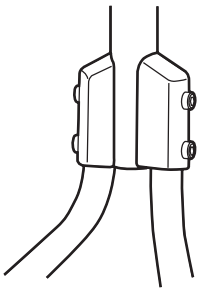
4 ガイド棒を抜き取ります。



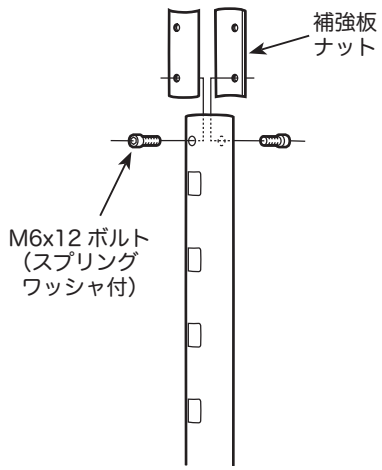
5 もう一方の孔にも M6x40 ボルトをねじ込みます。



6 M6x40 ボルトを 4 本ともしっかりとねじ込みます。

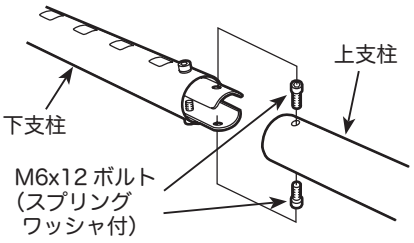


7 下支柱の上部の孔に補強板ナットを M6x12 ボルトで仮止めします。

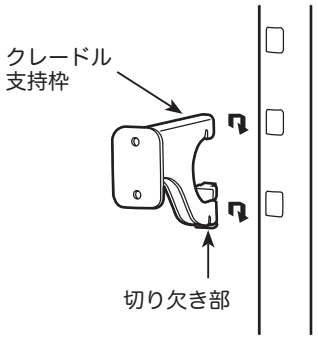


こちらの補強板ナットにもあらかじめ単品のうちに一度ボルトを通してネジを整えておくことをお勧めします。

8 取り付けた補強板ナットに上支柱をつなぎます。
四角孔のある面を同じ向きに揃えてください。
隙間なくつなげたら、M6x12ボルトをしっかりとねじ込んで固定します。

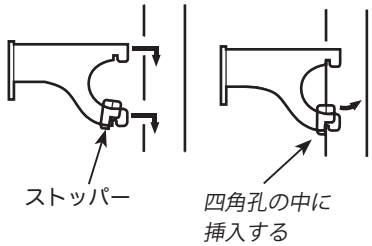


9 クレードル支持枠のフックを支柱の孔に挿入し、切り欠き部を上下とも四角孔の縁に掛けてから下向きに引き下ろして取り付けます。
下側のフックが孔より広くて入れにくい場合は、指でつまんで狭めてから挿入します。



クレードル支持枠もあらかじめ単独でネジ孔にボルトを通してネジを整えておくと、後の作業での失敗が少なくなります。

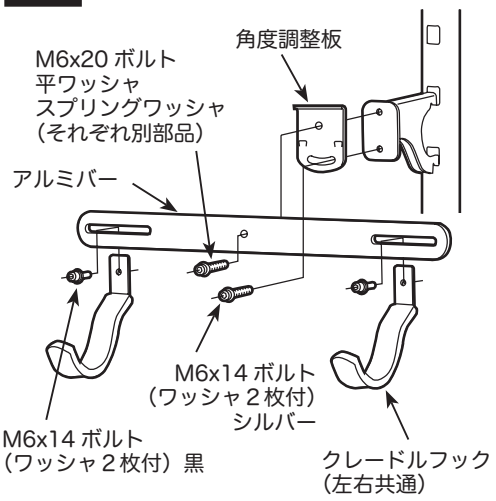
10 樹脂製ストッパーを支柱側にスライドさせて四角孔の中に挿入することで、クレードル支持枠が抜けてこないようにロックすることができます。



クレードルの高さを変更する際はストッパーを引き上げてロックを解除してから行ないます。

⚠ *ストッパーを引き抜く際は、マイナスドライバの先端などでストッパーの側面を引っかけて行なってください。*
素手で行なうと爪を剥がす恐れがあります。

11 クレードルを組み立てます。



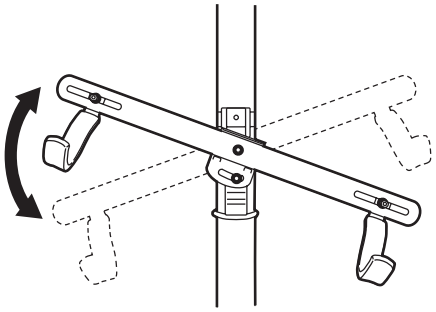
角度調整板は長孔側を下にしてください。
クレードルフックはアルミバーの裏面から装着します。これはできるだけ自転車を傷つけないようにするためです。

12 グラビティスタンドをしっかりした壁面にもたれさせます。
支柱は横から見て壁面と平行、あるいはやや下側が上側よりも広くなるようにして設置してください。
それから自転車のトップチューブをクレードルフックの上に静かに載せます。

⚠ *スリップによる転倒を防ぐため脚の下には板や紙などは敷かないでください。*

13 クレードルは、自転車のトップチューブの傾きに合わせて、その角度を調整することができます。

角度調整板の下側のボルト（長孔側）を緩め、適切な角度になるまでクレードルを傾けてください。角度が決定したらボルトをしっかりと締め込んで固定します。



クレードルフックの左右間隔や角度もそれぞれ調整できます。
お使いになる自転車に最適になるように調整してください。

注意していただきたいこと

●グラビティスタンドは、通常の２輪自転車専用のスタンドです。
それ以外の用途には使用しないでください。

●グラビティスタンドはどこにも固定されていません。近くを通るときにスタンドや自転車を引っかけたりしないように注意してください。

●グラビティスタンドは少々の揺れくらいでは転倒しないように十分な安定性を保つよう設計されていますが、万一の巨大地震などで転倒したりしないよう、付属のケーブルでスタンド上部を壁面に固定しておくことを勧めます。

●脚が接地する床面はきれいに清掃し、砂埃など摩擦抵抗を減らすようなものはあらかじめ取り除いておいてください。紙やマットなどを敷くこともおやめください。

●白色フレームではフックが密着することで稀に色移りして黄変することがあります。それを防止するためにはフック内側にバーテープ片を貼ったり、フック全体を包帯などで巻いて、フレームとフックとが直接触れないようにします。

●本商品には１年間のメーカー保証が設定されています。これはメーカー側に責任のある設計上のミス・製造上の不手際による不具合を補償するものです。ユーザによる誤った使い方・弊社の許可を受けない改造・天災等による破損や、輸送による破損などは保証の範囲外となります。詳しくは添付の「製品保証規定について」カードをお読み４ください。
また最新情報については弊社ウェブサイトを参照してください。

お問い合わせ先

製品について不明な点や不具合がある場合は、まずお買い求めになったショップにご相談ください。

＜製造・販売元＞　日本製

株式会社 箕浦

〒 503-2305
岐阜県安八郡神戸町神戸 1197-1

[営業部]
Phone (0584) 27-3131
Fax (0584) 27-7505
Mail minoura@minoura.jp

[カスタマーサービス]
Phone (0584) 27-3132
Fax (0584) 27-4258
Mail infodesk@minoura.jp
Web www.minoura.jp